

科目名 (英)	導入教育 First Year Experience	年次	1	実務経験	担当	太田 亜貴子/安中 松太郎
		授業形態	講義			
学科・コース	メイクファッション科	時間数	30		開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	
講師紹介	社会人経験豊富な職員が、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	目的意識を高め、プロに必要なことが何か確認する。同じ目標を持った仲間との相互支援環境を作る					
到達目標	プロの職業人になるために必要な業界知識や流れを理解し、安心、安全な場を作る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容	●スケジュール確認は毎回実施をします(メモを取る習慣作り) ●体調管理の徹底 →担任授業ではスケジュールの確認だけでなく、就職、学校行事、連絡事項など重要事項をお伝えします。体調管理を徹底して欠席しないように気を付けましょう。	
教材	手帳(スケジュールがわかるもの)・筆記用具					
特記事項	必要事項は必ずメモを取るように意識をする					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	美容のプロを目指す上で① -振り返りと個人目標設定-	オリエンテーションや導入教育を振り返り、目標を再確認する。 目標に向けてカリキュラムの必要性を明確化し、理解することができる。 ITリテラシー実施
2	美容のプロを目指す上で② -学校ルールの再確認と業界研究-	学校ルールを再確認し、スムーズに学校生活を送れるようにする。 業界研究について学び、将来の準備ができるようになる。
3	職業研究	ヘアメイクアップアーティストの仕事内容を理解する
4	業界研究①	ヘアメイクになる為の流れを理解し、方法を学ぶ
5	業界研究②	ヘアメイク事務所の調べ方を学び、業界の知識を深めることができる
6	現場実習について	現場実習の流れやルールを理解し、実習に必要な社会的マナー・主体性・コミュニケーション力を身に付けることができる
7	中間試験	入学してからを振り返り、学んだこと・今後身に付けていきたいことをまとめる
8	美容のプロを目指す上で③ -現場実習と今後の目標設定-	入学時の目標を振り返り、現時点での目標を再設定する 現場実習についての注意点を確認し、現場実習に臨む心構えが出来るようになる
9	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
10	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
11	夏休みにあたっての注意事項	長期休暇を過ごすにあたり、今後やるべきことを整理する コンテストについて
12	グループ学習(夏休み課題の振り返り)	グループ学習を通して、発表する力を身に付ける 職業理解を深めるために、体験学習の意図を理解し主体的に授業に参加する
13	プロの職業人を目指すにあたって③	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
14	業界研究③	ヘアメイク業界について、様々な視点から調べ、業界を理解する
15	定期試験	入学してからを振り返り、後期に向けやるべきことを整理する

科目名	メイクアップ総論 I	年次	1	実務経験	担当	福島 裕司
		授業形態	演習			
(英)	Make up I	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・専攻	メイクファッション科	単位	4			曜日・時間
講師紹介	美容業界で23年以上関わってきました。CMや舞台、雑誌のヘアメイクなど、お客様のキレイの基準向上に取り組んでいる。セミナーや教育など様々な現場で美の提供をしながら活動している教員が、美容のスペシャリストを育成する為、美容知識、技術、経験の基礎と応用を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	目的:メイクアップに関するマナー、専門知識、ナチュラルメイクの基礎的な技術を学ぶ。 科目概要:メイク基礎を学びJESCメイクアップアーティスト検定に合格できるようになる。					
到達目標	正しいメイクアップのマナーとセッティングの仕方を習得する 正しい化粧品の使用方法を理解し、限られた時間内でナチュラルメイクを仕上げることができる。 パーツごとにナチュラルメイクの正しい技術を習得することができる。バランスの良いナチュラルメイクを仕上げることができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	Make up foundation 1	事前事後 学習と その内容	講義、演習がメインとなる授業となる為遅刻欠席は出来るだけせず、復習をしっかりと授業に臨んで欲しい。 美容業界は流行の流れが速い為、常に雑誌やネットで情報を調べて予習しておく事。演習後は技術の復習をし、より確実に身に着ける事が望ましい。			
教材	学校指定のメイクアップ教材					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・美容基礎	道具の扱い方・並べ方などデモンストレーション スキンケア実習を学んで実習出来るようになる
2	クレンジング～スキンケア～ベースメイク	クレンジング～スキンケアまでの手順のやり方を覚え、スキンケアまで出来るようになる
3	ベースメイク①	スキンケア～ファンデーション～コンシーラー～フェイスパウダーまでの 手順とやり方を覚えメイクアップすることが出来るようになる
4	ベースメイク② アイブロウメイク①	前回の復習とアイブロウの手順とやり方を覚え、メイクアップすることが出来るようになる
5	アイブロウテクニック③ アイメイクテクニック①	アイブロウテクニック～アイメイクテクニック アイブロウ復習・アイシャドウの入れ方を学びメイクアップすること出来るようになる
6	アイメイクテクニック②	アイシャドウ～アイライン～ビューラー～マスカラまでの 手順とやり方を覚え、メイクアップすることが出来るようになる
7	中間試験	スキンケア～ベースメイク・アイブロウメイク 30分 アイブロウイラストテスト
8	アイメイクテクニック③ リップテクニック①	前回の復習とリップテクニック リップの入れ方、種類、手順とやり方を覚え、メイクアップすることが出来るようになる
9	リップテクニック② チークテクニック①	前回の復習とチークテクニック チークの入れ方、種類、手順とやり方を覚え、メイクアップすることが出来るようになる
10	フルメイク① メイクアップリズムを学ぶ	フルメイクを行いメイクアップのバランスを学ぶことが出来るようになる
11	フルメイク②筆記練習 メイクアップリズムを学ぶ	フルメイクを行いメイクアップのバランスを学ぶことが出来るようになる
12	フルメイク③ 筆記対策① テクニック確認・手直しを学ぶ	バランスを意識しながらフルメイクを行い テクニック確認・手直しを学ぶことが出来るようになる
13	カラーメイク 筆記対策② 手直しを学ぶ・時間内に収める	自分が選んだ色彩でフルメイクを仕上げることが出来るようになる
14	定期試験	フルメイク30分 筆記試験
15	まとめ・振り返り 筆記対策③	前期の振り返り 筆記対策 フルメイク復習を行う

科目名 (英)	ファッション総合 I Fashion I	年次	1	実務経験	担当	いさむちゃん
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドで働いてまた2013年からスタイリストとして活動中、雑誌やCMIに舞台など衣装を幅広くやっています。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。					
目的 科目概要	ファッションをトータルにプロデュース出来るようになる。					
到達目標	セルフコーデセンススキルアップとSNSでの企画やプレゼンテーションスキルを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	感性とプレゼンテーションスキルまたディスカッションスキルを学ぶために毎授業の時ドレスコードを設けてプレゼンテーションしてもらいます。	
教材	タブレット 各自のメイク道具					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ファッション総合について	今後の授業の流れ及びルールなど確認またプレゼンテーションスキルチェック
2	ファッショントレンド&リサーチ①	トレンドはどこからやって来るのか、リサーチの仕方など
3	ファッショントレンド&リサーチ②	映像からリサーチをしてトレンドを知る方法を学ぶ
4	ファッショントレンド&リサーチ③	オフラインでのトレンドのリサーチ方法を学ぶ
5	ファッショントレンド&リサーチ④	テストに向けてテーマやコンセプトを決める
6	試験準備	中間試験に向けて振り返りとブラッシュアップ
7	中間試験	中間試験
8	SNSマーケティング①	SNSでマーケティング方法を学ぶ
9	SNSマーケティング②	画像編集や動画編集の方法を学ぶ
10	SNSマーケティング③	実際にクリエーションを試みる
11	パーソナルスタイリング①	セルフコーディネートを学ぶ
12	パーソナルスタイリング②	モデルを決めてスタイリングをする
13	パーソナルスタイリング③	TPOにあったスタイリングを学ぶ
14	試験準備	定期試験に向けて振り返りとブラッシュアップ
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	ヘアメイク I Hair Make I	年次	1	実務経験	担当	吉村 幸
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	火曜日 3, 4限
講師紹介	舞台やスチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が美容を志す者として必要となる知識、技術を分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい					
目的 科目概要	メイクアップのみではなく、ヘアスタイルも含めた提案ができるようになる。また自身も流行やトレンドにあわせてヘアアレンジを作れるようになり、自分自身も輝くようになる					
到達目標	指定時間内にセルフでのヘアアレンジを作れるようになる。また相モデルでも基本となるヘアアレンジを作れるようになることを目標とする					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 □ 実技試験 ■ 作品 □ 提出課題					
教科書			事前事後 学習と その内容	コンセプトシートと作品制作を主な採点基準とする		
教材						
特記事項	なし					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	基礎知識を学ぶ	道具の名称、使用用途、方法などを学ぶ。ウィッグのセッティング、クランプの設置方法など
2	コ手巻き①	ウィッグにて内巻き、外巻きを覚える
3	コ手巻き②	ウィッグにてミックス巻きを学ぶ
4	セルフアレンジ①	ゴールデンポイントのポニーテール/ローポニーテールのアレンジができるようになる
5	ピンニング/編み込み	ピンニング/表編み/裏編みの編み方を習得し、ヘアアレンジを覚える
6	中間試験対策	中間試験に向けた準備・技術・時間の対策授業
7	中間試験	ウィッグにて30分以内に編み込み(裏編み)ハールアップを作る(MIX巻き)
8	セルフアレンジ②	ヨシンモリを作れるようになる(短髪の生徒はウィッグにて実習)
9	相モデル①ヘアアレンジ	相モデルで編み込みを使ったヘアアレンジをする(1回目)
10	相モデル②ヘアアレンジ	相モデルで編み込みを使ったヘアアレンジをする(2回目)
11	相モデル③ヘアアレンジ	相モデルでお団子アレンジをつくる
12	セルフアレンジ③	中間試験で作った編み込み(裏編み)ハーフアップをセルフアレンジで作る
13	相モデル③ヘアアレンジ	自分の好きなブランドでもし働くとしたら？のイメージヘアアレンジ
14	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業
15	定期試験	指定時間内にテーマに沿ったヘアアレンジを作ることができる

科目名 (英)	セルフビューティー I self beauty I	年次	1	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	水曜日 1.2限
講師紹介	原宿にあるベルエポック美容専門学校卒。ELCジャパン(株)M.A.Cに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。					
目的 科目概要	憧れられる美容のプロになるには、まずセルフプロデュースが大切。自分の持つプロ像に近づけるように、まずは自分磨きから行う。					
到達目標	普段の自分のメイクではやらないような、さまざまなメイクを楽しみながら習得し、自分に似合うメイクを知ることができる。メイクシートを活用し、思い描いたメイクルックをシートに施すことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □筆記試験 ■実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	BASIC MAKEUP		事前事後 学習と その内容 学校がない日も、いろんなメイクをしてみる。自分の新しい発見がありますよ！			
教材						
特記事項	ipadを使う授業があります。 エプロン、名札を着用。コットンなどの消耗品しっかり持ってくる。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介／憧れの人、メイクスタイルの写真をもってくる	憧れられる美容のプロになるには？みんなで自己紹介しながら発表。
2	肌タイプ分析／無印スキンケア研究／メイクシート	正しいクレンジング、乳化の方法、形状の違いを学ぶ。肌質の種類を勉強。肌別スキンケア方法の確認。メイクシートの記入方法。
3	スキンケアマッサージ／ベースメイク	教科書より。筋肉に沿った首までのマッサージ。ベースメイクアイテムの違いを知り、付けてみる。
4	ベースメイク／アイブロウ	顔の骨格を知る。自分にあったアイブロウの描き方。色んなアイブロウの形に挑戦。
5	アイメイクのコツ／ビューラーの方法	肌色に合ったアイシャドウの選び方。質感の違い。アイライナーやマスカラのコツ。
6	チーク／コントアー／リップ／韓国コスメ	カラー違いによる印象の違い。なりたい印象になるコントアー。口元に合ったリップ。韓国コスメでプロっぽいメイクをする。
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	コスメパーティ！／ブランドコラージュ作り	デパコスを含めてみんなで並べながら、どんなカラーが人気なのか触って使ってみる。ブランド概要を調べ、どんな人がこのブランドを使うのかイメージし、コラージュ作品を作る。
9	フェミニンメイク	フェミニンに見えるメイクを考え、メイクシート、コラージュ作成。
10	クールメイク	クールに見えるメイクを考え、メイクシート、コラージュ作成。
11	パーツメイク／たぬき顔ときつね顔	半々で、たぬきに見える顔ときつねに見える顔を実践。
12	季節が持つイメージ	グループに分かれて季節を決め、肌作りから季節を考えたメイクを施す。季節のファッションをイメージしたコラージュ作り。
13	アーティストックメイクに挑戦	普段しないような海外メイク風にも挑戦してみる。メイクシート、モード系ファッションコラージュ作成。
14	試験前の模擬試験	試験と同じように行い、最終調整をする。
15	定期試験	前期授業の理解度を確認する

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I Career Development I	年次	1	実務経験	担当	太田 亜貴子
		授業形態	講義			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	木曜日 1限
講師紹介	化粧品企業に入社後、ビューティアドバイザーとして都内百貨店で10年間勤務。セクションマネージャーとして店舗運営、美容部員育成にも携わる。ベルエポックでは業界経験を活かし、メイク・ファッション系の担任として学生サポート、就職指導を行う。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す職業像を明確にする。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	プロの職業人を目指すにあたり、美容業界に必要な基礎知識・業界情報を理解し、自分が目指す職業選択を決定する。仲間とのコミュニケーションを深め、自分から「笑顔であいさつ」ができるようになっている。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	Hand book of Life style スケジュール管理のための手帳					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	導入教育の振り返りとインターネットマナーについて	導入教育のを振り返り、東ベルに入学した目的と自分の目標を再度確認する。美容学生として就職活動を踏まえたSNSの活用を再度考える。(小テスト2点)
2	個人とクラスの目標	1年後の自分、クラスを創造し目標を決める。その目標ついてどのように取り組むかを自分たちで決める。GWの過ごし方について。(小テスト2点)
3	プレゼンテーション力を身につける	グループワークを通して、自分の意見を伝えること・他者の意見を吸収することを学ぶ。就職活動でも重要視されるプレゼンテーション力の基礎を学ぶ。(小テスト2点/課題2点)
4	夢を実現するための習慣を知る	【Hand book of Life style】教科書使用。夢を実現するための習慣と専門学校生活での大切単位、成績ついて改めて学ぶ。(小テスト2点)
5	職業研究①	この学科で目指せる職種について理解する。クラス会議①(ビューティアドバイザー、エステティシャン、ファッションアドバイザー、ネイリスト等)(小テスト2点)
6	職業研究②	この学科で目指せる職種についてさらに深く理解し、後期からの専攻授業を知る。(小テスト2点)
7	中間試験	入学してからを振り返り、学べたこと・今後身につけていきたい事をまとめる。(中間試験20点)
8	就職活動・現場実習に向けて今から準備すること、重要事項を知る	就職・実習に向けて今から準備すること、重要事項をクラスで話し合う。クラス会議②(小テスト2点)
9	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。(小テスト2点)
10	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。(小テスト2点)
11	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇を使って、準備しておきたい項目を理解する。夏休みの課題について(小テスト2点)
12	プレゼンテーション力を磨く	グループワークを通して、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることを学ぶ。就職活動でも重要視されるプレゼンテーション力を磨く。(小テスト2点/課題2点)
13	アンガーマネジメント	アンガーマネジメントを体験することで、自分自身をセルフコントロールできるようになる。(小テスト2点)
14	半年間の振り返り	わからない分野の洗い出しをし、必要な知識の整理をする。クラス会議③整理をすることで自分自身の課題を見つけ、今後の卒業までの目標を改めて考える。(小テスト2点)
15	定期試験	美容業界で自分が目指す職業人についての知識をアウトプットすることが出来る。半年間の振り返りも同時に行う。(定期試験60点)

科目名 (英)	おもてなし Omotenashi	年次	1	実務経験	担当	石田 智子
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	木曜日 2限
講師紹介	百貨店などの接客サービスの現場経験をもつ講師が、実体験を交えた講義を行う。個人技に近い「おもてなし」を自分自身で学び取るために、グループワークを取り入れた体験参加型の講義を行うので、毎授業積極的に参加すること。					
目的 科目概要	接客業に携わるうえで、自分と自分の仕事に自信を持ち、お客さまとのコミュニケーションが得意で、お客さまのさまざまな要求や課題、問題に対処して解決できる社会人基礎力に優れた「おもてなしのプロ」を目指す。					
到達目標	資格検定教本を通して「おもてなしの心」「型とスキル」を体系的に学び、「おもてなしマスター」資格を取得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 □実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	おもてなしマスター資格検定教本		事前事後 学習と その内容 おもてなしのプロとしてふさわしい、笑顔、挨拶、姿勢、言葉づかいを常に意識すること			
教材						
特記事項	毎授業「教本」「筆記用具一式」を必ず持参すること。決められた座席に着席し、グループワーク等の際には速やかに席移動すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目オリエンテーション	講師自己紹介 科目オリエンテーション(授業ルール、評価、資格検定試験についてなど)
2	おもてなしとは何か・おもてなしの背景	日本におけるおもてなしの背景と事例紹介 グループワーク「おもてなし」とは何か
3	おもてなしの心3つと基本となる型	教本におけるおもてなしの心3つの解説と5つの型
4	型1 事前調査	事前調査の必要性 事前調査において「傾聴スキル」がなぜ必要かの解説とワーク
5	型2 時間管理	時間管理とは何か グループワーク「待たせ感」を感じさせない工夫
6	型3 環境設定	五感と季節を意識した、お客さまにとっての空間準備について考える
7	中間試験	中間試験実施、終了後の解説解答から自身の課題を抽出する
8	型4 場面演出	場面演出の目的とイベント演出、お客さまに演出内容をプレゼンテーションする グループワーク「わたしのオススメ」(プレゼンテーション)
9	型5 変化対応①	アサーション4つのタイプの解説とセルフチェック
10	型5 変化対応②	ポジティブシンキング、ストレスマネジメントについて グループワーク「ポジティブシンキング」
11	5つのどの型にも有効な共通スキル①	共通スキル(なぜなぜシンキング、KJ法)とは
12	5つのどの型にも有効な共通スキル②	共通スキル(エゴグラム、コーチング)とは
13	振り返り・まとめ	おもてなしマスター検定試験に合格するための、最終的な準備
14	過去問題及び記述問題対策	過去問題に取り組み自己採点する、課題を抽出する 記述問題対策に取り組み
15	定期試験(おもてなしマスター検定試験)	おもてなしマスター検定試験に合格する

科目名 (英)	フェイシャルエステ Facial Esthetics	年次	1	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員がフェイシャルトリートメントを行う上で必要な知識と技術を丁寧に分かりやすく教える。トリートメントを行うことで、肌や心がどのように変化するのか体感しながら授業に参加してほしい。					
目的 科目概要	目的:フェイシャルエステの基礎理論と基礎技術を身につける。 概要:クレンジング、フェイシャルマッサージを正確に行うための理論と実技を学ぶ					
到達目標	汚れを残すことなく肌に負担をかけずにクレンジングが出来る。 フェイシャルマッサージの6手技を習得し、正確にマッサージが出来る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	認定フェイシャルエステティシャン 理論と技術			事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	トリートメントの概要 事前準備の仕方	この授業の概要と進め方について ワゴン、ベットセッティングの仕方、ホットタオルの作り方、手指消毒の仕方
2	フェイシャル基礎理論 モデルの誘導の仕方	クレンジングの目的と手法について、クレンジングに必要な用具、備品の説明 モデルの誘導、ターバンの巻き方の技術を習得する
3	皮膚のしくみと働き クレンジング①	皮膚の役割 ポイントメイク落としの技術を習得する
4	皮膚のしくみと働き クレンジング②	皮膚の構造(表皮) ベースメイククレンジング、スポンジ拭き取りの技術を習得する
5	皮膚のしくみと働き クレンジング③	皮膚の構造(ターンオーバー、真皮) クレンジング～スチームタオル拭き取り技術を習得する
6	皮膚のしくみと働き クレンジング④	皮膚の構造(皮下組織、皮膚の付属器) クレンジング～スチームタオル拭き取り技術を習得する
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	マッサージの基礎知識 フェイシャルマッサージ①	マッサージの目的効果、禁忌事項 マッサージ剤塗布～軽擦法の技術を習得する
9	マッサージの基礎知識 フェイシャルマッサージ②	マッサージの基本6手技の手法と効果 マッサージ剤塗布～軽擦法の技術を習得する
10	マッサージの基礎知識 フェイシャルマッサージ③	マッサージに関する骨・筋肉 マッサージ強擦法、揉撫法の技術を習得する
11	肌タイプについて フェイシャルマッサージ④	肌タイプの種類と特徴 マッサージ打法、振動法、圧迫法の技術を習得する
12	美しい肌について フェイシャルマッサージ⑤	美しい肌の条件とは マッサージ6手技の技術を習得する
13	クレンジング～マッサージ①	クレンジング～マッサージまでを効果的に行う
14	クレンジング～マッサージ②	クレンジング～マッサージまでを効果的に行う
15	定期試験	8から14回までの授業の理解度を確認する

科目名 (英)	ネイルケア & アート nail care & nail art	年次	1	実務経験	担当	殿村 雅子
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			曜日・時間
講師紹介	木下ユミメークアップ&ネイルアトリエ所属講師 殿村雅子					
目的 科目概要	ネイリスト技能検定3級の試験に合格するための理論と技術を習得。デモを取り入れ、基本である道具の準備、実技や接客の手順・テーブル回りのセッティングを学ぶ。ネイリスト技能検定3級に合格するためのネイルケアカラーを理解し、3級スタイルを覚え内容を把握して受講してほしい。ペイントアートをマスター出来るようケアカラーやアート総合タイムトライアルを取り入れ、検定直前には模擬試験を実施。全生徒が合格できるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	ネイリスト技能検定3級の実技を学び、試験合格レベルに達するよう技術を習得。 相モデルを取り入れたトレーニングを行う。中間試験と期末試験のタイムトライアルで時間も意識していく。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布			事前事後 学習と その内容	技術・教科書の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ケアカラー道具、アート道具					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧に取る事。					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ネイルケアカラーを理解する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】使用教材を覚える。手順・セッティングを覚える。デモ。 【履修確認】小テスト2点(セッティング)
2	ケアの徹底トレーニング・概論(歴史、爪の構造)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアを学ぶ。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点(仕上がり)
3	カラーリング徹底トレーニング・概論(爪の病気とトラブル)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ペーパーカラーと相モデルトレーニングでカラーリング、修正を覚える。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点(仕上がり) + 課題点2点(ペーパーカラー)
4	検定3級スタイルを覚える。	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ネイル検定3級内容を理解する。要項説明、実技採点基準ポイントを把握する。 【履修確認】小テスト2点(検定3級スタイル)
5	ケアカラー・概論(消毒法)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアカラーを通して学ぶ。 【履修確認】小テスト2点(仕上がり)
6	ケアカラー・概論(生理解剖学、皮膚科学)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアカラーを通して学ぶ。 【履修確認】小テスト2点(仕上がり)
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】相モデル ケアカラー(70分) 【履修確認】中間試験20点
8	ケアカラー復習	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでケアカラートータルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
9	ペイントアートをマスターする・概論(色彩学)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ストローク練習とチップトレーニングを実施し検定課題である「フラワー」アートをマスターする。デモ。 【履修確認】小テスト2点 + 課題点2点
10	ケアカラー、アート総合タイムトライアル	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでケアカラートータルトレーニング。《タイムトライアル》 【履修確認】小テスト2点
11	検定3級直前の模擬試験	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルで3級内容のタイムトライアル。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点
12	検定実技報告	【授業形態】講義・実習 【到達目標】出来たところと出来なかったところを自己採点。相モデルトレーニング《タイムトライアル》 【履修確認】小テスト2点
13	コンテスト対策ケアカラー	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ケアカラー復習。相モデルで3種塗分け(マット、パール、シアー)デモ。 【履修確認】小テスト2点
14	コンテスト対策ケアカラー	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでコンテスト向けケアカラータイムトライアル。 【履修確認】小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】ケアカラー(70分) 【履修確認】期末試験50点

科目名 (英)	ファッション総合Ⅱ (エステティック) Fashion II	年次	1	実務経験	担当	峯崎千恵美・殿村雅子
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4			
講師紹介	(峯崎)国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員がファッションを着こなすためのボディケアトリートメント方法を教える。 (殿村)木下ユミメイクアップ&ネイルアトリエ所属講師					
目的 科目概要	目的:ファッションを着こなすための美ボディケアの基礎理論と基礎技術を身につける。 概要:ハンドマッサージ、ヘッドマッサージ、ネック&ショルダーマッサージ、セルフケアなどを正確に行うための理論と実技を学び、アクリル絵の具やポリッシュでできるネイルアートを応用し、アレンジできるような技術を身につける。					
到達目標	強弱やリズム、密着、連続性、走行性を意識しながら結果がでるマッサージを行える。 モデルの気持ちになり、おもてなしの心を持ってお手入れができる。 ファッションに合わせたネイルをコーディネートできるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布			事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	ケアカラー道具、アート道具、チップ、チップスタンド、スポンジ、ハサミなど					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参し、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	トリートメントの概要 ハンドマッサージ	この授業の概要と進め方について ハンドマッサージの効果、禁忌事項、注意事項、技術を習得する
2	ヘッドマッサージ	ヘッドマッサージの効果、禁忌事項を学ぶ ヘッドマッサージの技術を習得する
3	アロマトリートメント	アロマセラピーとは、精油の種類と効果について学ぶ お気に入りの香りで自分だけのトリートメントオイルを作る
4	ネック&ショルダーマッサージ	首から肩にかけての筋肉を学ぶ ネック&ショルダーマッサージ技術を習得する
5	前操作&G5	タオルの上からのボディケア技術を習得する G5機器の効果、禁忌事項、技術を習得する
6	セルフケア(レックトリートメント)	ゴマージュ剤を使用し、角質ケア技術を習得する むくみに効果的なレッグマッサージ技術を習得する
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	ポリッシュアート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ラメグラデ、マーブル。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点
9	ポリッシュアート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】フレンチ、変形フレンチ(逆フレンチ、斜めフレンチ、シェブロン)など。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点+課題点2点
10	フラットアート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】スポンジアート(グラデ、チェック、タイダイ、デニム)など。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点
11	フラットアート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】レース、ツイード、リボンなど。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点
12	フラットアート③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】アニマル(ヒョウ、ゼブラなど)。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点
13	ファッションイメージに合わせたコーディネート	【授業形態】講義・実習 【到達目標】イメージ分類8種説明。相反するイメージを2種選び、8～12で習ったアートを使用したアートを施す。可能であればI padにてカラーージュ作成。5本2セット。【履修確認】小テスト2点
14	セルフコーディネート	【授業形態】講義・実習 【到達目標】自分自身を客観的に見て分析し、自分のファッションに合わせたネイルチップを10本作る。チップサイズを合わせから仕上げまで。 【履修確認】小テスト2点
15	定期試験	【授業形態】実習 【到達目標】ケアカラー(70分) 【履修確認】期末試験50点

科目名 (英)	ブランド研究 I Brand Research I	年次	1	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	月曜日 3、4限
講師紹介	原宿にあるベルエポック美容専門学校卒。ELCジャパン(株)M.A.Cに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。					
目的 科目概要	プチプラからデパートコスメのブランド概要、トレンドのスキンケアやフレグランスなど最新の美容情報の共有。正しいSNSのUP方法を知る。セルフメイクでデパコスを使い、良さを知る。					
到達目標	それぞれのメイクブランドのヒーローアイテム、歴史などを深掘りし、業界のことをさらに知ることができる。SNSでコスメ宣伝をする際の注意事項を学び、正しい加工技術や写真の撮り方ができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	いろんなブランドに興味をもち、実際に接客を受けてみる。	
教材						
特記事項	ipadは毎回使います。 ブランドイメージのトータルコーデをしてくる宿題あり。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介／ブランドが好きな人の系統を探る	自分の好きなブランドを発表。ファッション、ネイルもMIXし、ブランドの特徴を調べ、カラーージュして発表。
2	資生堂、カネボウブランドを調べる	資生堂、カネボウブランドを調べ、みんなで発表。
3	コーセーブランドを調べる／デパコス	コーセーグループを調べる。国産ブランドのコスメを使ってセルフメイク。良さを発表。
4	国産ブランドのInstagramを研究	スキンケアブランド、メイクブランドの違い。
5	LVMH／ロレアル／エスティローダー	ブランド調べて発表。外資系デパコスでセルフメイク。国産と違うところは？
6	プチプラのドラコスブランド／インスタ研究	プチプラコスメの良さ、インスタの研究。デパコスとの違い。
7	中間試験	1～6週目のまとめ
8	外資系ブランドのInstagramを研究	スキンケアブランド、メイクブランドの違い。今までのブランドまとめ。
9	雑誌を読んでみる	雑誌のメリット、デメリット。ネットのメリット、デメリット。違いを研究。
10	韓国コスメ／魅力的なインスタ写真	顔、マクロ、スウォッチ、物撮り。写真を撮ってみる。韓国コスメを研究、セルフメイク。
11	画像、動画の撮影	見て楽しくなるような、欲しくなるような写真をグループで撮り合う。
12	写真の加工、写り方の研究	キレイに見えるシミ取り加工の仕方。好きなインスタ画像を真似てやってみる。
13	スウォッチを腕に体験／文章の構成	カラーがわかるスウォッチを腕に体験。サウンドバイトを知る。欲しくなるような文章を考える。
14	定期試験のプレゼンまとめ。写真の準備	試験の事前準備。
15	定期試験	後期授業内容のまとめ

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ Career DevelopmentⅡ	年次	1	実務経験	担当	太田 亜貴子
		授業形態	講義			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2		曜日・時間	火曜日 1限
講師紹介	化粧品企業に入社後、ビューティアドバイザーとして都内百貨店で10年間勤務。セクションマネージャーとして店舗運営、美容部員育成にも携わる。ベルエポックでは業界経験を活かし、メイク・ファッション系の担任として学生サポート、就職指導を行う。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す職業像を明確にする。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	プロの職業人を目指すにあたり、美容業界に必要な基礎知識・業界情報を理解し、自分が目指す職業選択を決定する。仲間とのコミュニケーションを深め、自分から「笑顔であいさつ」ができるようになっている。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	手帳・Hand book of Life style					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	後期目標設定	前期を振り返り、後期の目標設定。 就職活動の流れを含んだ後期のスケジュールを理解する。
2	就職スケジュール・履歴書・面接対策	就職スケジュールを把握し、履歴書の重要性を理解する。 また面接試験のマナーを学び、自己紹介が出来るようになる。
3	業界研究	自分の目指す業界を研究することで、進路の方向性を決める。
4	履歴書の書き方①	就職活動における履歴書の役割や作成のポイントを学ぶ。 基本項目を書いてみる。
5	履歴書の書き方②	履歴書プロフィール欄の書き方を理解し、書いてみる。 求人票の見方も同時に学ぶ。
6	自己紹介、自己PRのポイントを知る	自己紹介の練習を行い、他人から見た自分の姿を把握する。
7	中間試験	履歴書プロフィール欄の完成。丁寧に仕上げる。
8	就活エントリーについて理解する	エントリーシートや動画エントリーについて理解し、自身で準備をすすめられるようになる。
9	面接対策	さまざまな面接スタイルを学び、面接対策で今後自分に何が必要かを理解する。
10	履歴書作成①	履歴書のその他の項目について学び、準備をする。 エントリーシートとの違いを知る。
11	面接ロールプレイ①	ロールプレイで実践的に学ぶ。
12	電話とメールのマナー	電話のかけ方を学び、印象の良い電話対応が出来るようになる。 面接先や説明会会場での所作を学び、印象の良い対応が出来るようになる。
13	就職対策	春休みの就職活動について理解し、主体的に活動をするための手段を理解知る。
14	履歴書作成③ 面接ロールプレイ②	履歴書のすべての項目を完成させる。 模擬面接を行い、自分の言葉でアピールできるようになる。
15	定期試験	履歴書の完成と模擬面接を通して、就職活動の準備を整える。

科目名 (英)	パーソナルカラー I	年次	1	実務経験	担当	色彩活用研究所 (向井久美)
	Personal color I	授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2			
講師紹介	専門学校を中心にパーソナルカラー検定の授業を行っています。また継続的に女子大の学生に向けたセミナー(パーソナルカラー簡易診断を含む)で、似合う色での自分表現の可能性や楽しさをお伝えしています。基本的な色彩やパーソナルカラーについて、みなさんが将来のお仕事だけではなくプライベートでも役立つように一緒に色を楽しみながら、パーソナルカラー3級を取得を目指していきましょう。					
目的 科目概要	目的:基本な色彩の知識と、第一印象をよく見せてくれるパーソナルカラー(似合う色)を学び、カラーコーディネートの基礎を学び、パーソナルカラー検定3級合格を目指す。 概要:パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の方法、そのもとになる色彩学の基礎をカラーワークなど実際に色に触れていきながら色彩感覚を身に付ける。自分自身の似合う色の傾向を実習を通して学ぶ。					
到達目標	"目的:基本な色彩の知識と、第一印象をよく見せてくれるパーソナルカラー(似合う色)を学び、カラーコーディネートの基礎を学び、パーソナルカラー検定3級合格を目指す。 概要:パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の方法、そのもとになる色彩学の基礎をカラーワークなど実際に色に触れていきながら色彩感覚を身に付ける。自分自身の似合う色の傾向を実習を通して学ぶ。"□					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	色彩活用パーソナルカラー3級テキスト	事前事後 学習と その内容	身の回りにはたくさん色があります。色を気にしながら見ていくと、色感や表現力が磨かれていき、パーソナルカラーに活かすことができるようになっていきます。授業の進行状況により、必要に応じて課題(問題集、プリントなど)を実施し、パーソナルカラーへの理解を深めていきます。			
教材	3級向題集、新配色カード199p、トーンマップ過去問題原本(2冊)□					
特記事項	はさみ、のり、筆記用具も持参してください。					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	10/3 オリエンテーション、パーソナルカラーと色彩	授業内容、パーソナルカラー(似合う色)を知ることのメリットとその概要を理解する。カラーワークレッスン(色相環作成)と色の三属性について理解する。
2	10/10 色の三属性(色相、明度、彩度)、トーンCW	色彩の基本である色の三属性(色相、明度、彩度)をより深く学ぶ。トーンマップカラーワークレッスン。
3	10/17 トーン(色の調子)	トーンの考え方やしくみ、色のイメージについて理解する。身の周りの色などの色の特徴を捉えて、見分けることができるようになる。
4	10/24 パーソナルカラーの基本、4シーズンのカラーパレット	パーソナルカラーの基本を学ぶ。4シーズンの色の特徴を理解し、色分類ができるようになる。
5	10/31 色素について、色素の特徴(肌、髪、目)、色名	色素(肌、髪、目)の種類と特徴について理解する。自分の色素傾向をグループワークを通して確認する。色の名前について学ぶ。
6	11/14 似合う色と似合わない色、光について	ドレーピングでの顔映りの変化、効果と影響についてを知る。光について理解する。
7	11/21 中間試験、ドレーピング手法	1回目～6回目の授業内容を理解度の確認の試験を実施。ドレーピングでの顔映りの変化、効果と影響についてを知る。
8	11/28 対比(明度、彩度、色相)、色の影響の現れやすさ	対比(明度、彩度、色相)について理解し、色の影響の現れやすさを確認する。グループ分けをし、実際にドレープを使って色による顔色の変化(顔映り)を体感する。ドレーピング実習を踏まえて、自分に似合う色の取り入れ方を理解する。注意事項の説明、試験時間60分、ポイントのまとめ
9	12/5 ドレーピング実習①	グループ分けをし、実際にドレープを使って色による顔色の変化(顔映り)を体感する。□ □ □
10	12/12 ドレーピング診断結果のまとめ、似合う色の取り入れ方	ドレーピング実習を踏まえて、自分に似合う色の取り入れ方を理解する。
11	12/19 全体の復習	検定試験対策として、問題傾向を踏まえた上でのポイントをおさえる
12	1/16 全体の復習	検定試験対策として、問題傾向を踏まえた上でのポイントをおさえる
13	1/23 定期試験(模擬試験を兼ねる)	注意事項の説明、試験時間60分
14	模擬試験の解説・総まとめ	問題へのアプローチ方法の確認・検定試験までの学び方・学習方法のアドバイス
15	パーソナルカラー検定受験	授業内受験

科目名 (英)	パーソナルスタイリング Personal styling	年次	1	実務経験	担当	工藤 亮子
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	火曜 3・4限
講師紹介	イメージコンサルタントとして起業して14年目。NYのFashion Institute Technology (FIT)での専門的な学びを活かし、独自のコンサルティングスタイルを確立。経営者、芸能人、文化人のイメージ戦略、自分らしく生きたい女性の魅せ方まで、幅広く支援している。NHKあさイチをはじめ、メディア出演掲載、日本橋三越、銀座三越、阪急メンズ、大丸東京など百貨店でのトークイベント、スタイリングイベントの実績					
目的 科目概要	パーソナルスタイリング知識の測定試験「TOPSS」の公式テキストを使って、ファッションの基礎知識を身につけ、ファッション業界、美容業界での実務に活かせるスタイリング力、コンサルティング力、コミュニケーション力を習得する。					
到達目標	パーソナルスタイリングの基本となる服の知識、スタイル、アウトフィット、TPO、色、ヘアメイクとのバランスなどを理解し、実習を通じてスタイリング技術を習得する。アパレル業界で即戦力となることを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	「基礎からわかるパーソナルスタイリング」日本パーソナルスタイリング振興協会 著			事前事後 学習と その内容	復習：TOPSSテキスト	
教材						
特記事項						

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	・自己紹介 ・テキストの概要説明 ・パーソナルスタイリングとファッションスタイル
2	服の知識 P12～P34	・基本のファッションアイテム ・アパレル素材、サイズ、採寸 ・コラージュ作成
3	スタイルとイメージ P36～50	・ファッションスタイルとイメージワーク ・一般の方をスタイリングするということ
4	色彩とパーソナルカラー P74～86	・色彩が持つ特徴と印象 ・パーソナルカラー診断 ・ファッション、コスメとパーソナルカラー
5	骨格診断と素材・柄・デザイン P12～P34 アウトフィットとコーディネート P52～P62	・骨格診断とは ・ファッションアイテムの素材・柄・色との関係 ・体型の悩み別コーディネート
6	パーソナルスタイリング実践①	・診断結果の観点、イメージ別パーソナルスタイリング、撮影
7	中間試験	・筆記試験 ・コーディネート実技
8	TPO・アウトフィット P64～P71	・場に相応しい服の選び方 ・ファッションマナーの考え方
9	メンズウェア P88～P100	・メンズウェアの基本 ・スーツ、カジュアルスタイル
10	ヘアメイクとファッション教養 P102～P118	・ヘアメイクとファッションの組み合わせ ・ファッションの歴史 ・環境とファッション
11	パーソナルスタイリング実践②	・トレンドリサーチ ・イメージ別・シチュエーション別パーソナルスタイリング(相モデルorモデル実習)
12	パーソナルスタイリング実践③	・展示会レポート ・ショッピングリスト作成
13	パーソナルスタイリング実践④	・コレクション分析 ・トレンド予測 ・ファッションアドバイザー接客演習
14	今までの振り返り	・テキストのおさらい問題 ・試験対策
15	定期試験	・筆記試験 ・試験の振り返り

科目名 (英)	ヘアメイクⅡ Hair MakeⅡ	年次	1	実務経験	担当	(株)テーブルカンパニー (伊藤、吉村)
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	水曜日 3, 4限
講師紹介	舞台やスチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい					
目的 科目概要	ヘアスタイルの基礎、知識、ヘアアレンジを習得することを目的とする					
到達目標	カールアイロンを使用しスタイリングができる。ハーフアップアレンジやアップスタイルができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書		事前事後 学習と その内容	技術授業の場合、授業前にヘアセッティングを完了させてください			
教材	デザイン画のプリント配布					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	技術チェック	基礎的な技術チェック(アイロン・編み込み・ピニング)チェック
2	アイロンテクニック	カールアイロン・スパイラル巻き、ロープ巻きを使ったスタイル
3	ハーフアップスタイル	アイロンを使ったハーフアップスタイル
4	テーマ撮影決め	撮影のコンセプトシート、ペアでヘアメイク
5	テーマ撮影練習	テーマ撮影のヘアメイク、ペアでヘアメイク
6	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業 ハーフアップスタイル
7	中間試験	指定時間内にハーフアップスタイルを完成/撮影のヘアの練習
8	テーマ撮影 リハーサル	テーマ撮影のヘアメイク、ペアでヘアメイク
9	テーマ撮影	テーマに合わせた撮影
10	ラフアップスタイル①	アップスタイル①
11	パーティーアップスタイル①	パーティーに合うアップスタイル
12	パーティーアップスタイル②	パーティーに合うアップスタイル
13	相モデルでヘアメイク	相モデルでヘアメイクを仕上げる
14	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業
15	定期試験	指定時間内アップスタイルを完成させる

科目名 (英)	メイクアップ総論 II Make Up II	年次	1	実務経験	担当	CAA (高岸、原口、福田、秋本)
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	木曜日 1・2限
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティーアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。 CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ資格 を取得する。4シーズンカラーのファッションに合わせたメイクアップを学ぶ					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のブロンズ資格を取得する。4シーズンカラーのファッションに合わせたメイクアップを 習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト			事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。	
教材	メイク道具一式					
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析	自己紹介・化粧品業界の動向を理解しブランド分析する。デザインシート書き方
2	化粧品学(基礎)1スキンケアアイテム	基礎化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ハイブランドブランドメイク(セルフ)
3	化粧品学(基礎)2メイクアップアイテム	仕上げ用化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ①
4	接客販売1&タッチアップ	化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ②
5	接客販売2&タッチアップ	お客様の分類・集客・売上・販売行動・アプローチ・クローゼットなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ③
6	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策	ブロンズ模擬テスト 実技:タッチアップ 色相グラデーション
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験
8	4シーズンカラー スプリング	①色彩学 4シーズンカラー スプリングの特徴を理解しメイクで習得する。
9	4シーズンカラー サマー	②色彩学 4シーズンカラー サマーの特徴を理解しメイクで習得する。
10	4シーズンカラー オータム	③色彩学 4シーズンカラー オータムの特徴を理解しメイクで習得する。
11	4シーズンカラー ウィンター	④色彩学 4シーズンカラー ウィンターの特徴を理解しメイクで習得する。
12	ヒューマンカラーチェック	色相:ベースカラー・明度:ライト・ディープ・彩度:ビビット・ソフト を理解し診断する。
13	パーソナルカラーチェック	カウンセリングでベストカラーを導き出し、パーソナルカラーでフルメイクをする。
14	定期試験対策:4シーズンカラー	実技試験:パーソナルカラーで40分フルメイクの理解と対策
15	定期試験:4シーズンカラー	実技試験:パーソナルカラーで40分フルメイク

科目名 (英)	グローバルサービス Global Services	年次	1	実務経験	担当	NOVA
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科・専攻	メイクファッション科	単位	2	有	開講区分	後期
講師紹介	語学教育の経験があり、様々な学校の学生様から企業様まで幅広い世代に語学を教えております。生徒の皆さんが語学や文化に興味を持ってくれるような授業を展開していきます。					
目的 科目概要	英語：海外モデルとのコミュニケーションをとる事ができ、メイクスキルに必要な英語での表現を習得する 韓国語：言語を通して異文化理解に努め、韓国語で挨拶や身の回りの言葉を話せるようになる					
到達目標						
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	English for Beauticians		事前事後 学習と その内容 自宅です習・復習を行うこと。			
教材	資料配布					
特記事項	教科書、ノート、筆記用具を持参し、配布されたプリントはファイルに取っておくこと。先生が板書した内容を丁寧にノートに取ること。積極的に授業に参加してください。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	【韓国語】 ハングルを理解しよう	ハングルを使って自分の名前を書けるようになる 身の回りのハングルを読めるようになる
2	【韓国語】 挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる、自身の仕事について紹介出来るようになる
3	【韓国語】 日常会話で使えるフレーズ	普段使える簡単なフレーズを学ぶ 簡単な意思疎通をとれるようになる
4	【韓国語】 流行しているヘアメイク	韓国コスメや流行のヘアメイクについて学ぶ
5	【韓国語】 コミュニケーションをとろう	学んだフレーズを使ってコミュニケーションを取る 韓国人のお客様と簡単な会話ができる
6	【韓国語】復習	中間試験に向けて復習を行う
7	【韓国語】中間試験	中間試験
8	【英語】挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
9	【英語】電話対応/飛び込み客	電話予約の表現を学ぶ 電話で予約を承ることが出来るようになる 飛び込み客への対応の表現を学ぶ 飛び込み客の対応が出来るようになる
10	【英語】お客様への質問	丁寧な質問の仕方を学ぶ お客様に失礼のない質問が出来るようになる
11	【英語】道案内	道案内の表現を学ぶ サロンまでの道案内が出来るようになる
12	【英語】会計	会計の表現を学ぶ 会計をすることが出来るようになる
13	【英語】施術中	会話を続ける方法を学ぶ お客様と雑談出来るようになる
14	【英語】復習	定期試験に向けて復習を行う
15	【英語】定期試験	定期試験

科目名 (英)	ヨガ Yoga	年次	1	実務経験	担当	手塚 沙也花
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2		曜日・時間	Aチーム(金:3限) Bチーム(金4限)
講師紹介	大手スポーツクラブや独自で開いたスタジオで、トレーニング・ヨガ・ピラティスのレッスンをしています。運動はもちろん、健康的な食事や自宅でもできるストレッチ・トレーニングのやり方をお伝えします。					
目的 科目概要	ヨガの呼吸法やポーズを行い、集中力を高めたり、その時々のお気持ちの調整などセルフコントロールを学ぶ。また、基礎体力の向上、美しい姿勢やたちふるまいを習得するためにヨガやピラティス・トレーニングを実施する。					
到達目標	今後の面接や就職先での立ち振るまい、美しい姿勢を身に付ける。あらゆる場面でも前向きにいられるように、お気持ちの調整方法を身に付ける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	体の柔軟性は人それぞれです。人とは比べずに自分の体を知りながら、無理をせずに行っていきましょう。	
教材	資料配布					
特記事項	毎講義で実技を行うため、授業が始まるまでに動きやすい服装を着て準備すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	今後の講義の説明・ヨガ体験	ヨガ講義を受ける必要性を知る。ヨガレッスン体験。
2	ヨガの歴史	ヨガの効果や歴史を知る。セルフストレッチ・マッサージ実施。
3	呼吸法・自律神経について	呼吸法を行い、自律神経を整える。
4	背骨・骨盤の役割	背骨や骨盤の役割を理解し、意識をしながら動かしていく。
5	ピラティスとは？	ピラティスを知り、体験する。
6	アライメントチェック	アライメント(良い姿勢)をチェックし、自分の体の状態を知る。
7	中間試験	今までの講義の内容を理解しているか確認する。
8	アロマの効果／リラックスヨガ	アロマの効果を知り、自分のリラックス方法を見つける。
9	太陽礼拝／アクティブヨガ	太陽礼拝を知る。アクティブなダイエットヨガを体験する。
10	トレーニング	トレーニングの効果を学び、自宅でもできるトレーニングを実施。
11	ストレッチ	ストレッチの必要性を理解し、自宅でもできるストレッチを実施する。
12	食事・栄養について	健康的な食事や、必要な栄養素を学ぶ。
13	ヨガ・ピラティス・トレーニング	これまで行ってきた運動を再度確認しながら実施する。
14	これまでの授業の振り返り	授業内容を振り返り、理解しているか確認する。
15	定期試験	ヨガの講義で学んだことを今後どのように活かせるか再確認する。

科目名 (英)	トレンドメイク I Trend Make Up I	年次	1	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分 曜日・時間	後期 木3・4
		単位	4			
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティーアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ資格を取得する。最新のトレンドメイクを学び習得する。					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のシルバー資格を取得する。最新トレンドルックのメイクを習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト シルバー			事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。	
教材	メイク道具一式					
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析	自己紹介・化粧品業界の動向を理解しブランド分析する。デザインシート書き方
2	化粧品学(基礎)1スキンケアアイテム	基礎化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ハイブランドメイク(セルフ)
3	化粧品学(基礎)2メイクアップアイテム	仕上げ用化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ①
4	接客販売1&トレンドメイクタッチアップ	化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ②
5	接客販売2&トレンドメイクタッチアップ	お客様の分類・集客・売上・販売行動・アプローチ・クローゼットなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ③
6	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策	ブロンズ模擬テスト 実技:タッチアップ 色相グラデーション
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験
8	化粧品学(応用)1&トレンドカラー① スプリング	薬事法・化粧品成分・美白成分・最新有効成分などを習得①トレンドカラー スプリングの特徴を理解しメイクで習得する。
9	化粧品学(応用)2&トレンドカラー② サマー	品質向上・安定化成分・メイクアップ構成成分・フレグランスなどを習得②トレンドカラー サマーの特徴を理解しメイクで習得する。
10	皮膚科学1&トレンドカラー③ オータム	皮膚とは・血液リンパ・季節と肌などを習得③トレンドカラー オータムの特徴を理解しメイクで習得する。
11	皮膚科学2&トレンドカラー④ ウィンター	スキントイプ・肌のトラブルなどを習得④トレンドカラー ウィンターの特徴を理解しメイクで習得する。
12	スキンケアカウンセリング1&ヒューマンカラー	スキンケアカウンセリング手順など習得。色相:ベースカラー・明度:ライト・ディープ・彩度:ピビット・ソフト を理解し診断する。
13	スキンケアカウンセリング2&パーソナルカラー	シルバー過去問題。カウンセリングでベストカラーを導き出し、パーソナルカラーでフルメイクをする。
14	化粧品販売員検定シルバー・4シーズンカラー期末試験対策	CAAシルバー筆記試験・4シーズントレンドメイク
15	化粧品販売員検定シルバー・4シーズンカラー期末試験対策	CAAシルバー筆記試験・4シーズントレンドメイク対策

科目名 (英)	スキンケアカウンセリング I Skin Care Counseling I	年次	1	実務経験	担当	山田 優子
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	水1・2
講師紹介	エステティシャンとして20年間に渡りフェイシャルケア、ボディケア等、様々な美容サービスを提供してきました。授業では心身を癒し肌やボディラインを整える為のノウハウを丁寧にお伝えしてゆきます。生活に役立つセルフケアの方法や、美容家として社会で活躍する為に役立つ美容の基礎知識を提供します。					
目的 科目概要	皮膚のしくみを理解し、スキンケアカウンセリング、クレンジングからフェイシャルマッサージまでの一連のトリートメントを学ぶ。 『美肌検定』に合格する為に必要な知識を習得する。					
到達目標	皮膚のしくみを理解し、正しいスキンケアやフェイシャルマッサージが出来るようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	一般社団法人日本エステティック協会:美肌検定の教科書			事前事後 学習と その内容	毎回の授業テーマと概要を理解して授業に参加する事。	
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業の授業内容を復習し、配布プリントは保管する事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	美肌とは/クレンジング	美肌の条件や自分の肌状態を知る。クレンジングの実践。
2	正しい美肌ケアの基本/ホットタオル拭き取り	正しいスキンケアを学ぶ。ホットタオル拭き取りの実践。
3	皮膚の仕組みと働き/ローションパック	皮膚の仕組みと働きについて学ぶ。ローションパックの実践。
4	美肌とホルモン/復習	美肌と関わり深い4大ホルモンについて学ぶ。クレンジング技術の復習
5	美肌の大敵/吸引ケア	美肌を邪魔する4つの要因について学ぶ。吸引ケアの実践。
6	化粧品について/酵素ケア	お手入れに欠かせない化粧品について学ぶ。酵素ケアの実践。
7	中間試験	6回までの講義の理解度を確認する。【実技試験】
8	ボディのセルフケア/フットマッサージ	ボディのセルフケアについて学ぶ。フットマッサージの実践。
9	ボディケアとは/ボディマッサージ	ボディトリートメントについて学ぶ。ボディマッサージの実践。
10	フェイシャルマッサージ/フェイシャルマッサージ①	フェイシャルマッサージについて学ぶ。フェイシャルマッサージの実践。
11	6手技について/フェイシャルマッサージ②	6手技について学ぶ。フェイシャルマッサージの実践。
12	主要な筋肉とリンパ節/フェイシャルマッサージ③	筋肉やリンパ節について学ぶ。フェイシャルマッサージの実践。
13	フェイシャルマッサージの復習	フェイシャルマッサージの復習。
14	フェイシャルパックとは/モデリングマスク	フェイシャルパックについて学ぶ。モデリングマスクの実践。
15	期末試験	14回までの講義の理解度を確認する。【実技試験】